

おだわら環境志民ネットワーク会報誌

Green Era



10-12

2023
Odawara
Environmental
Citizen's
Network
Vol.28

TEKE FREE

表紙：鈴木伸幸さん
(小田原柑橘倶楽部 代表取締役)

- 小田原ワインプロジェクト
- おだわらSDGsデイ2023
- かいせい町民フェスティバル
- おだわら市民学校公開講座
- きまつり2023
- 小田原市農業まつり
- 第3回おだわらグリーンマルシェ
- 農福連携と竹炭作り
- フィールドワーク (いきものグループ)



小田原柑橘倶楽部 小田原ワインプロジェクト

2023年8月6日(日)@石橋圃場

石橋地区で耕作放棄地だった場所を開拓し2020年からワイン用のブドウ畑として整備を続けている小田原ワインプロジェクトが3年目を迎え本格的な収穫が行われ、いよいよ小田原ワインがお目見えます。

2022年はごく少量ではあったものの想定外の収穫(約70kg、ワインボトル50本分)があり試験的に醸造した小田原ワインも、2023年には250kgまで収穫量が増えました。収穫日は途中から豪雨に見舞われてしまい全ての果実を摘み取れなかったこともあり今後まだまだ収穫量は増えていき飲み切れなほどの小田原ワインが作られるのではないかと期待が膨らみます。

日当たりのいい山の斜面を更地にして、720本の小さな苗木を植えるところから始まった小田原ワインプロジェクトですが、現在圃場では1000本以上の「メイヴ」の木が立ち並び、耕作面積も1ヘクタールを超えて、日々プロジェクトメンバーの皆さんが入れ替わり立ち代わりでお手入れを行っています。



▲1つ1つ手作業でぶどうを収穫する様子



▲摘み取りながら醸造に適さない実を取り除きます

出来上がった小田原ワイン、ニューヴォスタイル▼

小田原ワインプロジェクトで栽培するぶどうは無農薬栽培なので害虫対策や病気に罹った木々の除去を毎日小まめに手入れすることで美味しいワインに仕上がります。

2023年の収穫分の半分は「小田原ワインニューヴォスタイル」として瓶詰めし、新酒を味わう会が行われました。前年より味わい深くなったワインに舌鼓しながら喜びを分かち合いました。もう半分はワイナリーにて熟成させてもう間もなく完成します。市内での一般販売も視野にしているとのことで、より多くの方々に小田原の豊かな自然で育った小田原産の「メイヴ」を楽しんでもらいながら、この素晴らしい自然資源を世界に向けてPRしていけたらと思います。



▲収穫されたぶどう「メイヴ」



▲新酒を味わう会の様子



▲おだわら SDGs デイ 2023 の様子



▲毎月開催している染色教室の様子

Save The Earth in かいせい かいせい町民フェスティバル

2023年10月21日(土)@開成町役場

地繋がり、川繋がり、開成町と小田原市を1つの地域として捉え、流域的に活動をされているSave The Earth in かいせいの皆さんが、開成町役場で行われた第1回町民フェスティバルに出展されました。普段活動されているモリンガの植樹活動の展示発表や自作の「モリンガゲーム」などで盛り上がり、また「おだわら竹あかりプロジェクト」の竹細工も代理販売していただき完売するなど、他会員との連携も積極的に行っています。



▲出展の様子



▲出展の様子



▲子どもに大人気「モリンガゲーム」



▼市民学校の様子



NPO法人和の文化塾 おだわらSDGsデイ2023 ほか

2023年9月23日(土)@HaRuNe小田原うめまる広場
SDGsに関連した取組を展開している団体等が参画する「おだわらSDGsパートナー」が集まるイベントに参加しました。小田原の自然から得られた天然染料で染色した色とりどりのシルクストールを展示しました。染色教室は毎月2回定期的に開催していてどなたでもいつからでも参加することができます。また同時に竹あかりの展示と活動PRも行いました。和の文化塾が発起人の「おだわら竹あかりプロジェクト」では、毎月1回誰でも気軽に参加できる竹あかり製作講座を開催するようになりこちらも広くメンバーを募集しています。



▲竹あかり製作講座の様子

石戸谷博範さん (講師)おだわら市民学校公開講座

2023年10月21日(土)@小田原市役所
おだわら環境志民ネットワークでは、おだわら市民学校と連携し、専門過程「自然を守り育てる」に会員の方々を講師として派遣しています。この日は公開講座で石戸谷さんが小田原の海の環境変化によって起こった生態系の移り変わりなどの相関性について講義しました。



▲会場の様子



▲樹木の漢字当てクイズ



▲竹切り体験子

2023年10月7日(土)@いこいの森
毎年恒例となった、小田原いこいの森での「きまつり」に出展しました。小田原の自然環境のうち、特に森林に馴染み深い活動をされている会員さんを中心に物販や展示、体験などのブース出展があり、来場者の興味を引いていました。この日は天候にも恵まれ気持ちの良い秋晴れのなかで1日過ごすことができました。主に家族連れの人が多く、子どもたちが普段なかなか見ることのない森の中のことや、体験コーナーを訪れては興味津々に楽しんでいました。きまつりはおだわら環境志民ネットワーク以外にも様々な団体が出展しており関係者同士の交流からまた新たなアイデアが生まれる場面もありました。2024年も引き続き開催予定とのことなので自然を身近に感じてもらえる機会を大切にしていきたいと思えます。



▲いきもの展示



▲出展の様子



▲出展の様子



▲おだわら環境志民ネットワークのテント



▲出展の様子

おだわら環境志民ネットワーク (出展)小田原市農業まつり

2023年11月18日(土)・19日(日)@小田原城二の丸広場
小田原城二の丸広場にて行われた「小田原市農業まつり」におだわら環境志民ネットワークでブース出展しました。1つのテントという限られた場所でしたが会員の方々のご協力が無事に出展することができました。農業まつりは「城下町おだわらツデーマーチ」と同日開催ということもあり、市内外から老若男女問わず多くの方に立ち寄っていただくことができました。物販とワークショップをメインに小田原の自然環境のことや、そこから生まれる自然環境の保全につながる商品を手にとっていただき、中にはリピーターや、今までわざわざ取り寄せて手に入れていたものやなかなか手に入らないものが売られていて感動したなど好評でした。



▲会場の様子



▲会場の様子

多くの方々にご来場いただき、小田原の自然環境を感じることができる物販や展示などで楽しんでもらえたと思います。また今回も会員の方々のほか外部からのジョイント参加もありマルシェを盛り上げていただきました。野菜の重さ当てクイズなど参加型のコンテンツも好評いただいたので今後も織り交ぜていきたいと思ひます。



▲出展の様子



▲野菜の重さ当てクイズの様子



▲懇親会の様子

おだわら環境志民ネットワーク 第3回おだわらグリーンマルシェ

2023年12月17日(日)@HaRuNe小田原うめまる広場
おだわら環境志民ネットワークが主催するマルシェイベント「おだわらグリーンマルシェ」を、小田原地下街ハルネ小田原で開催しました。第2回までは小田原観光交流センターで行ってききましたが、雨こそなかったものの、気温や強風など自然の力を味方に付けることができず、出店に苦戦することが続いていましたので、今回は会場を移し、室内での開催となりました。初めて使用する場所でしたが、天候に左右されないので安心して準備を進めることができました。



▲福井智樹さんと N 高等学校の皆さん



▲Save The Earth in かいせいとアキュラホームの皆さん



▲湘南オーガニックファーマーズマーケットの皆さん

マルシェ終了後は、場所を変えて懇親会を開催しました。1日の疲れはもちろん1年間を振り返りながら、次の1年に向けて抱負を語り合うなど賑やかな会になりました。2024年も「おだわらグリーンマルシェ」は年2回ほどの開催を予定しています。



▲みかんの収穫を手伝うありんこホームの皆さん



▲無煙炭火器で竹炭を作る様子

NPO法人虹の会 ありんこホーム 農福連携活動と竹炭作り

2023年11月9日(木)@舟原地区

ありんこホームでは地域の農家さんと連携し、農作業のお手伝いを行っています。ありんこホームで取り扱っているジャムなどはこういった繋がりのある農家さんの未利用果物(形や色が悪く市場にでない物)などを使って作られています。

2023年12月10日(日)

志民ネットワークの環境保全活動支援事業で購入した無煙炭火器を使用して竹炭をつくりました。2台の炭化器でとても効率よく作業することが可能になり竹細工の廃材などが短時間で竹炭になり、また新たな商品として生まれ変わります。

おだわら環境志民ネットワーク いきものグループ フィールドワーク「富水地区(ほたる川)」

2023年12月3日(日)@富水地区

いきものグループのフィールドワークが行われました。

継続的な自然環境保全活動に向けた前段階として地形の観察や、生き物・植物などの調査を重ねています。

この日はオイカワ、ドジョウ、サワガニ、テナガエビ、貝類ほか多様な水生生物を観察することができ、第3回おだわらグリーンマルシェでも生き物を展示することで小田原の自然を体感できるコーナーを作りました。引き続き自然環境モニタリング調査に向けて準備を重ねて行く予定で、グループメンバーも募集しています。



▲いきものグループの皆さん



▲水生生物を採取している様子



おだわら環境志民ネットワーク 第2回フィールドワークと

首都圏ブース出展のご案内

【つながる事業】第2回フィールドワーク 開催日:1月21日(日)
《水を巡る旅～高度経済成長の光と闇、丹沢湖と曾我梅林～》
合同会社10decades代表の平澤さんに、日ごろ活動されている曾我地域をご案内いただきます

【そだてる事業】田町ムスブマルシェ出展 開催日:1月28日(日)
地元小田原を飛び出し、東京のど真ん中で志民ネットワークの活動や会員の皆さまの商材をPRします



▲前回のフィールドワークの様子(辻村山林にて)

-あとがき- 編集後記

(撮影・編集：奥津一樹)



暑い暑いと言っていたのがつい昨日のように思いますが、あっという間に寒くなり、年が明け、自然の移り変わりは目まぐるしく、その中で箱根の山の紅葉や、富士山の雪化粧を見てはその雄大さに癒される日々です。

「おだわらグリーンマルシェ」も3回目を開催することができました。賑やかな会場作りを考え文字通り身体を張ってみた場面もありましたが、こうしたマルシェなどのイベントを通じて今後益々、おだわら環境志民ネットワークが市内外を問わず広く認知されより多くの人たち、未来の子どもたちへ豊かな小田原の自然環境を伝えながら、地域一丸となって守り育てていきたいと思えます。

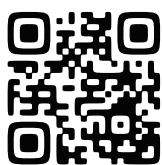
今後の会員活動予定

イベント等の詳細・参加申し込み各種お問合せは各会員または事務局までお気軽に。

- ・1月18日(木) おだわら環境志民ネットワーク【第6回 森里川海ブランド検討ワーキング】
@小田原市役所 602会議室 19:00-20:00
- ・1月20日(土) おだわられもんラボ【開運めぐーるワークショップ(サシェ作り)】
@小田原なりわい交流館 10:30-11:50
- ・1月21日(日) おだわら環境志民ネットワーク【第2回フィールドワーク】
@下曾我地区 9:30-13:30
- ・1月27日(土) 奥津一樹【新春 ジビエカレー作り教室】
@小田原市生涯学習センターけやき 調理実習室 11:00-14:00
- ・1月28日(日) おだわら環境志民ネットワーク(出展)【田町ムスブマルシェ】
@田町ステーションタワー 11:00-17:00
- ・1月30日(火) おだわら環境志民ネットワーク【令和5年度第3回役員会】
@小田原市役所 18:00-20:00
- ・2月9日(金) おだわら竹あかりプロジェクト【パートナーシップ製作講座】
@小田原市生涯学習センターけやき 美術工芸室 17:00-21:00
- ・3月9日(土) 合同会社小田原かなごてファーム【かなごて流域祭&おひさまSDGsマルシェ】
@小田原城二の丸広場 10:00-16:00

各種SNS 日々更新中

Homepage



Facebook



Instagram



youtube



LINE





おだわら環境志民ネットワーク

Odawara Environmental Citizen's Network

(事務局)

小田原市環境部環境政策課

電話：0465-33-1472

メール：ka-kansei@city.odawara.kanagawa.jp